

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|--------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2023年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | 専門演習Ⅰ | | |
| 担当者(Instructors) | 西崎 有多子 | 配当年次(Dividend year) | 3 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

小学校入学前ならびに小学校において、子どもたちに楽しく英語を教えるために、言語習得の観点から指導法と教材・教材開発を学ぶ。そのために必要な総合的英語力と背景知識、合わせて基礎学力・文章力の向上を目指す。海外のウェブサイトから、必要に応じて様々な情報を得る方法を学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|---|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 入門期の英語教育、小学校英語教育における基本的な教材を知り、体験を通して指導法を学ぶ。英語、英語圏についての知識や文化について、自ら調べることにより、より深い理解と知識を得て英語総合力を向上させる。PCを道具として使いこなせる力をつける。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|-------------------------------------|---|--------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション、自己紹介 | ゼミの進め方、メンバー自己紹介 | <input type="checkbox"/> |
| 第2回 | 日本における英語教育の現状と課題 小学校教員を目指すために | 日本における英語教育の現状と今後を理解する。 小学校教員になるためにすべきことを考える。 | <input type="checkbox"/> |
| 第3回 | 言語習得とは何か。 小学校学習指導要領(1) | 基本的な言語習得理論と指導法との関連などを知る。 学習指導要領を読む。 | <input type="checkbox"/> |
| 第4回 | 児童英語・小学校英語の教材 小学校学習指導要領(2) | 児童英語・小学校英語の教材の種類と活用法を知る。 学習指導要領を読む。 | <input type="checkbox"/> |
| 第5回 | 英語の発音記号と発音練習（母音） 小学校学習指導要領を読む(3) | 母音の発音を中心に英語の発音記号を知り、練習する。 学習指導要領を読む。 | <input type="checkbox"/> |
| 第6回 | 英語の発音記号と発音練習（子音） 評価 | 子音の発音を中心に英語の発音記号を知り、練習する。 評価に関する資料を読む。 | <input type="checkbox"/> |
| 第7回 | 英語絵本を読む。 小学校英語の理解 | 英語絵本を読む留意点を確認し、練習を行なう。 小学校英語に関する資料を読む。 | <input type="checkbox"/> |
| 第8回 | 英語絵本の読み聞かせ 小学校の学び | 英語絵本の読み聞かせの練習を行なう。 小学校での学びを概観する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第9回 | 学外演習活動を行なう | 小学校教育に役立ち、ゼミ学生が希望する場所へ学外活動として出かける。 | <input type="checkbox"/> |
| 第10回 | 英語の歌を歌う、文章の書き方(1) | 現場でよく使われている英語の歌を知る。古い英語に触れる。文章の書き方の原則を学ぶ。 | <input type="checkbox"/> |
| 第11回 | 英語の歌で遊ぶ、文章の書き方(2) | 英語の歌を使って指導する方法を学ぶ。中世の英語に触れる。文章の書き方の基本を学ぶ。 | <input type="checkbox"/> |
| 第12回 | 英語のゲームを知り、遊ぶ | 現場でよく使われている英語のゲームを知り、その長所と短所を理解する。英語のことば遊びに触れる。 | <input type="checkbox"/> |
| 第13回 | 教材としての英語のゲーム、文章の書き方(3) | 英語のゲームの目的を確認し、教材化する。文章の書き方の実際を学ぶ。 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | 英語の歌・ゲームを使っての模擬授業 | 歌やゲームを使った教材研究を行ない、模擬授業形式で発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | 他教科関連授業の模擬授業 | 他教科関連授業に関して教材研究を行ない、模擬授業形式で発表する。 | <input type="checkbox"/> |

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各自で2時間程度、教材や資料を読み込み、関連した情報をインターネット等で得て、授業内で発表できる準備をする。授業後に各

自分で2時間程度、授業内容を振り返り、疑問点がないか確認する。授業で学んだ教材の活用方法を考え、次の授業でディスカッションできる準備をする。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

模擬授業を含む発表の際は録画を行い、皆で改善点を話し合い、必要に応じて再度発表を行う。文章の書き方では、定期的に文章を書く課題に対して小論文を書き、理解度を確認する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 知識・技能 | ◆ 2019子ども発達DP1 | 日本における英語教育の現状と問題点、基本的な言語習得理論を理解し、説明できる。英語の発音記号が読め、正確に発音できる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ◇ 2019子ども発達DP2 | 英語教育に使用される代表的な絵本やゲームを知り、教材としての使い方を工夫できる。他教科関連の指導法を実践できる。 |
| 主体性 | ◇ 2019子ども発達DP3 | 英英辞典を活用し、簡単な英語を別の英語で言い換えたり、説明したりできる。英語絵本の読み聞かせができる。教材としての英語の歌やゲーム等を説明して行うことができる。 |

■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| | | | 40% | 60% |

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

授業内小テストと課題 40%、 実技と発表 60%

■テキスト(Textbooks)

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|----------|---|-------------------|
| 1 | Rod Campbell 『Dear Zoo』 | 978-1-4169-4737-0 |
| 2 | 『Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集』FOM出版 | 978-4-86510-317-5 |
| 3 | 前田安正 『マジ、文章書けないんだけど』大和書房 | 978-4-479-79586-5 |
| 4 | Collins Cobuild 『Primary Learner's Dictionary』3rd edition, HarperCollins Publishers | 978-0-008-253196 |
| 5 | | |

■参考図書(references books)

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|----------|-----------------------|------------|
| 1 | 高校レベル以上の英和辞典（電子辞書でも可） | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |